

丸紅 (8002)

参考銘柄

【ホームページアドレス】 <http://www.marubeni.co.jp/>

08.3期営業利益は1,900億円、5期連続過去最高益更新へ

08.3期業績・第3四半期(4-12月期)の業績は、前年同期比11%の増収、営業利益で1,412億円、14%増益と好調。

収益柱はエネルギー、卸売電力、資材・紙パルプ、食糧、輸送機・産業機械の5事業で、営業利益全体の約7割を稼ぐ。次いで開発建設、化学、金属資源、繊維など。

なお、上記営業利益の通期計画に対する進捗率は74%とほぼ計画線。08.3期通期業績は、前期比12%の増収、営業利益で1,900億円、15%の増益予想。

このため、5期連続最高益更新はほぼ確実視される。配当は2円増配の年12円配当の公算大だが、配当性向から13円配当の可能性も。

北海で大規模油・ガス田を発見、4年以内に生産開始へ

丸紅は3月5日、41%の権益を持つ北海油・ガス田で試掘に成功と発表。

具体的には、当社が100%出資する石油・ガス開発子会社「マルベニ・ノースシー」(英国)が、カナダの独立系大手石油・ガス開発企業「タリスマン・エナジー」の英子会社と共同で、英領北海において探鉱に成功したものの。

新しく発見された油・ガス田は、既にケイレイ油・ガス田と命名された。今回の試掘井からは、日量2,846バレルのコンデンセート(=天然ガソリン)と29.7百万立方フィートの天然ガス、都合原油換算で日量8,000バレル(=約1,272k1)を確認済み。

同鉱区内には、これまでの地震探査で今回と同様な大型の有望構造が複数発見されている。今後、さらに探鉱を重ね埋蔵量を確認する。4年以内には商業生産に移行する方針。生産時までにかかる投資額は両社で数百億円以下にとどまる見通し。というのは、近くに、既存の共同パイプラインが敷設されているためで、投資額は試掘井や生産井中心になりそうだ。

なお、実際の生産には、確認埋蔵量にもよるが通常10本程度の井戸を掘る。試掘井の状況から判断すると、日量4~8万バレルの生産が見込まれる。仮に原油価格を1バレル当たり100ドルとすれば、このケイレイ油・ガス田プロジェクトでの年間売上げは1,460~2,920億円、営業利益で600~1,200億円計上できる見通し。このうち41%が当社取り分。

(安藤)

◇業績続伸、連続増配へ

[業績推移] (連結)

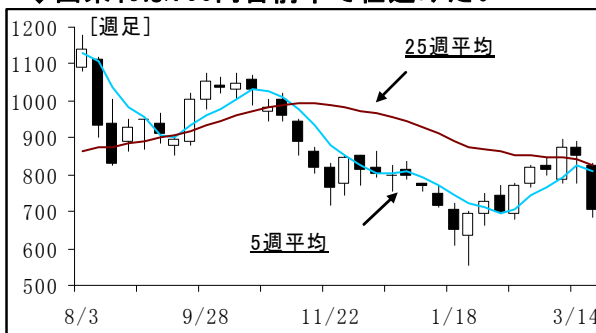
単位：億円、円、()は伸び率%

決算期	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	1株利益	1株配当
07.3	95,549(10)	1,650(15)	1,938(91)	1,193(62)	72.4	10.00
08.3予	107,000(12)	1,900(15)	2,330(20)	1,470(23)	84.6	12~13.00
09.3予	110,000(3)	2,000(5)	2,450(5)	1,550(5)	89.2	13~14.00

◇出来れば700円台前半で仕込みたい

[主要株価指標]

(売買単位：1,000株)



株価 (2008/3/25)	728 円
昨年来高値 (高値日)	1,212 円 (07/7/24)
同 安値 (安値日)	554 円 (08/1/22)
予想PER	8.6 倍
1株株主資本	474 円
PBR	1.54 倍
予想配当利回り (年12円で)	1.65 %
ROE	16.0 %
発行済み株式数	173,492 万株